



運動推進 NEWS

まちづくり60年 そして未来へ

令和2年2月号 第204号

(令和2年2月29日)

公益社団法人 東京のあすを創る協会

中央区八重洲2-11-7 東栄八重洲ビル6階

Tel 03-3272-0213 Fax 03-3272-1257

Eメール tou-asu@netjoy.ne.jp

地域活動ルポ

◆小平市・とまり木 仲間づくりパーティ

1月25日、小平市福社会館で第38回地域デビュー・仲間づくりパーティが行われました。毎年、2回ずつ行われているパーティですので、もう19年も続けられています。地元・小平出身の落語家入船辰之助さん、小平を中心に活動しているシンガソングライターの三ツ矢竹輝さんがフレッシュな唄、歌を披露し暖かな雰囲気醸成していました。そんなところに、長年続けられてきた秘密があるのではないのでしょうか。



西村会長



入船辰之助さん



三ツ矢竹輝さん

◆北区 来たKITA 学び合いフェスタ

2月15日～16日、北区赤羽会館で「もうすぐ2020東京大会！来たKITA 学び合いフェスタ」が開催されました。東京都生活学校連絡協議会は、6年前より様々なイベントを企画、実施してきましたが、いよいよオリンピック・パラリンピックが近づいてきた中で、北区教育委員会主催のイベントにも参加協力しました。来場者にお手玉づくりを丁寧に教えるなど、大会に向け機運を盛り上げていました。



初日の参加メンバー



お手玉づくりの指南

◆大田区生活学校連絡協議会 合同研修会



100オバンザイ体操を実演中



2月21日、「人生100年時代を健やかに生きる」と題し一般区民にも公開した合同研修会が開催されました。会場は下丸子の区民プラザ。新型コロナウイルスの感染の広がりが懸念される中、会場いっぱい集まった区民、会員はNPO法人日本フィットネスコミュニティ協会代表の熊谷清美さんのパワフルなリードで、100オバンザイ体操を繰り広げました。後半には、大田区の保健師、栄養士から健康講話がありました。

◆北区・影絵サークル「つくしんぼう」

2月24日、北区東田端ふれあい館で行われた児童館利用者によるボランティアグループ「わんこのしっぽ」主催の「春のお楽しみ会」で、北区の「つくしんぼう」による影絵公演が行われました。数多いレパートリーから、



影絵「ねずみの嫁入り」



当日のメンバー勢揃い



影絵の操作を説明

「ねずみの嫁入り」「小人の靴屋」が演じられ、演目の間には影絵遊びが披露されました。昨今はCGによるアニメーションを見ることが多い中、北区立赤羽台西小学校PTAの仲間が集まって昭和58年から続く影絵サークルの制作から公演まで見事なチームワークによる、手づくりの良さが子どもたちに新鮮な感動をもたらしたようです。



◆CAPワークショップ～NPO法人「青い空」

いまだに児童虐待事件が、そしていじめ問題もなくなりません。昨年は、目黒区で、千葉県野田市で死に至る痛ましい虐待事件が起きました。いじめの問題では、子供だけではなく、神戸市で教員間の陰湿ないじめが露見して驚かされた。それらの事件が起きるたびに原因が分析され報告書としてまとめられ、様々な対策が実施されています。しかし、残念ながら将来に向けての根絶は難しいでしょう。なぜならそれら虐待、いじめの背景に横たわっている、社会全体を覆う格差拡大が大きくなることはあっても小さくなることはないと考えられるからです。虐待事件、いじめ問題に対して児童福祉、学校、警察の行政が連携して対処することが求められますが、それが閉ざされた家庭の問題であり、多忙な教員が担わなくてはならない問題であることが、解決を困難にしています。

そんな難しい課題を別な視点から解決を目指しているのがCAP(Child Assault Prevention:子どもへの暴力防止)、1978年に米国オハイオ州コロンバスのレイプ救援センターが開発し、世界10カ国以上で実施されているプログラムです。日本へは1985年に紹介され、現在日本全国で子どもが『いじめ・誘拐・性暴力』といったさまざまな暴力から自分を守るための暴力防止プログラムとして実施されています。

CAPの基本的な考え方は3つです。

1. エンパワメント～内なる力を引き出す働きかけ

人は生まれながらに素晴らしい力を持っている。その力を信じ、十分に発揮できるように働きかけることです。「子どもは無力だ」と考えられ、暴力防止は「～してはいけません」という行動規制が中心だった。しかし、それでは実際に暴力に遭遇した時にどうしたらいいかわからない。CAPは、たとえ不安で困難な状況であっても、子どもが本来持っている問題を解決する力を信じて「あなたには～ができるよ。～もできるよ」と行動の選択肢を共に考え、暴力に対処する力をサポートします。

2. 人権意識～「安心・自信・自由」そして大切なわたし

子どもたちは誰でも「安心」して「自信」を持って「自由」に生きる権利があります。そして、暴力とはこの「安心・自信・自由」の3つの権利を侵す行為です。暴力に遭いそうになった時、「いやと言う」「逃げる、その場をはなれる」「誰かに話す」ことを学び、危険な状況から逃げるための知識や技術を身につけ、大切な自分の心と体を守ることができるようになります。

3. コミュニティ～学校・家庭・地域の連携

CAPでは、子どもたちが安心して暮らしていくために

は、地域のおとなたちが子どもたちをサポートすることが不可欠だと考えています。おとなへのワークショップを教職員や親、地域のおとなたちへ提供することにより、エンパワメント、人権意識などの考えや暴力に対する知識、情報、技術などをおとな同士が共有し、連携して地域全体で子どもたちをサポートする方法を一緒に考えます。また、子どもたちは子どもの安全のために真剣に取り組んでいるおとなたちがいること、子どもの話を聞いてくれるおとながいることを理解します。CAPはコミュニティの安全のための活動です。

このCAPの取り組みをしているのが、NPO法人「青い空」です。「青い空」は1996年に立ち上げられ、2003年にNPO法人化し、セルフディフェンス講座、デートDV防止講座を加えて、現在まで継続的に活動を続けています。



CAPワークショップの様子

今回、三鷹市にある私立小学校のPTAの皆さんに向けた<おとなワークショップ>を実際に見学させていただきました。長年かけて練り上げられてきた分かりやすく実践的なワークショップであり、子どもたち向けのプログラムも実際に役立つ術を身に付けられるものだと伺えるものでした。このワークショップで一人でも多くの子どもたちが暴力から逃れられることを願わずにはいられません。子どもたちに限らず、多くの人たちにこのワークショップを体験できるよう「青い空」の活動が広められることを願ってやみません。暴力におののき、萎縮して助けを求めている子どもたちのためにも。

ありがとうございました。

▽ひとこと

新型コロナウイルスが日本でも広がっています。世界ではこれまでも天然痘、ペスト、スペイン風邪など様々な感染症の脅威にさらされてきました。この脅威により残念ながら多くの人命が失われましたが、薬やワクチンの開発により困難を乗り越えてきました。今回のウイルスに対しても人類の叡智で早期に克服されることを願ってやみません。さて、今回の感染危機により、東創協の大きなイベントの一つ、運動推進大会表彰式も残念ながら中止となりました。生命及び健康を最大限に尊重するという観点からすれば、自ずと結論が見いだされるものですが、そのことにより営利活動が阻害される状況下では、リスクも覚悟の上の判断もしなければならないこともある。背に腹は代えられぬ。難しい判断が求められます。一方、子どもの生命・健康、そして人権は絶対に守られなければならないものです。あらゆる叡智と、あらゆる手段を考え、絶対に救うべきものです。二度とリンちゃん、結愛ちゃん、心愛ちゃんのように命をおびやかしてはならない。今回の推進大会では「青い空」の活動を講演していただく予定でしたが、また機会をみつけてお話したいと考えています。(竜)